

なお、戦後の焼結作業について、原料、操業、設備上 最近の諸外國の製鉄作業についての視察者による報告が
 に現われたる進歩改善の跡に對する批判、検討並びに、 行われた。(昭和 27 年 10 月寄稿)

第1表 戦後熔鐵爐稼働状況

会社	工場	炉別	昭和20年度				昭和21年度				昭和22年度				昭和23年度				昭和24年度				昭和25年度				昭和26年度				昭和27年度 備考	
			1/4	2/4	3/4	4/4	1/4	2/4	3/4	4/4	1/4	2/4	3/4	4/4	1/4	2/4	3/4	4/4	1/4	2/4	3/4	4/4	1/4	2/4	3/4	4/4	1/4	2/4				
富士製鉄	富田	No.1 350	71.5																													
		No.2 350	12.20																													
		No.3 225	12.40																													
		No.4 225	24.9				3.8																									
	藤岡	No.1 700																														
		No.2 700					8.2																									
		No.3 700	(20.2.25以降休止)																													
		合計	12基 6,950																													
	八幡製鉄	東田	No.1 300	3.17												2.1																
			No.2 300																	3.11												
			No.3 350					5.7																								
			No.4 350	3.10																												
No.5 400			3.7																													
No.6 400			3.1																													
洞岡		No.1 500	2.8																													
		No.2 700																														
		No.3 1,000	4.71																													
		No.4 1,000					7.5																									
戸畑		No.1 400	2.8																													
		No.2 300	2.10																													
合計	12基 6,000																															
	日本鋼管	川崎	No.1 400	7.4																												
崎		No.2 350	4.16																													
		No.3 600	(28.2.4以降休止)																													
		No.4 600	7.5																													
No.5 600		4.72																														
鶴見	No.1 200	2.13																														
	No.2 300	(19.2以降休止)																														
合計	7基 3,050																															
	小倉	No.1 350	6																													
No.2 350		(19.8完成後投入せず)																														
合計	2基 700																															
	中山	No.1 500	(19.9以降休止)																													
No.2 500		(同 上)																														
尾鉄	No.1 350	(28.8.20以降休止)																														
	No.2 700	(19.8.16以降休止)																														
川崎(千葉)	No.1 500	(建設中)																														
	合計	38基 16,620																														

抄 録 募 集

抄録原稿の手持が手薄となりましたので奮って御寄稿下さい、(薄謝進呈)

執筆要領は毎号掲載の抄録欄を御参照して頂き、一題につき原稿用紙三枚程度に御願

致します、原稿用紙は協会所定の用紙(一冊 30 枚綴 30 圓)を御使用願います。